

平成30年12月21日(金)

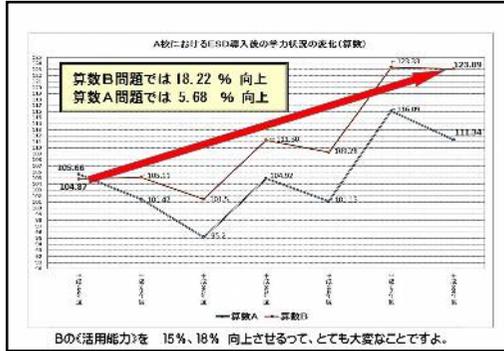
近畿ESDコンソーシアム連続公開講座 第4回

「これからの時代に求められる  
学校教育と教師の姿」



江東区立八名川小学校 前校長  
手島 利夫

メール: [contact@esdejma.com](mailto:contact@esdejma.com)  
「ESD, SDGsを推進する手島利夫の研究室」  
URL: <https://www.esd-tejma.com/>  
携帯: 090-9399-0891



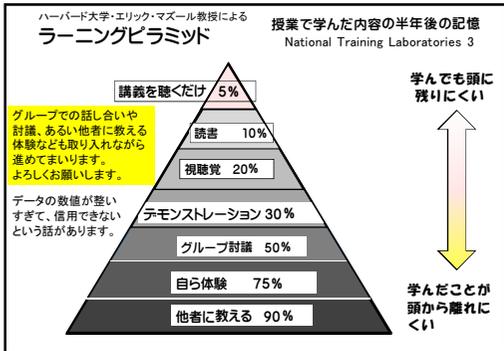
皆様方とこのように出会えること、子どもたちの幸せと学びの充実に、結びつけたいです。

今日の話は、新聞でもテレビでも報道されていません。記者さんが理解できなかったからです。でも、今日はわかりやすくお伝えします。よろしくをお願いします。

さて、今日の研修会は

「**皆様の考え方や問題意識を大切にしながら**」  
進めたいと思います。

工夫してまいりますので、ご協力をお願いします。



ところで、最近では

**社会が大きく変化したことって  
例えばどんなことがあるかな？**

私たちが生きてきた時代 → その結果としての → 未来

昔 → 今 → 未来

戦後の焦土の中から、様々な課題を乗り越えてより良い社会を目指してみんなで頑張ってきた。

より良い未来を創るには、今がどんな時代なのか、どんな課題があるのか、どのように立ち向かうのかが重要。



情報が世界を瞬時に駆け巡り、世界を変える

- ・どんな知識も瞬時に取り出せる魔法の機械ですね
- ・コンピュータと連動して、株価も瞬時に変動
- ・アラブの春・・・エジプト政府は1週間で・・・
- ・個人の情報も知らないうちに・・・
- ・「イスラム国」という仮想国が世界を脅かす
- ・カショギ氏の問題でも、サウジアラビアの言い分がどんどん変わらざるを得なくなって・・・



9. 11 ニューヨークのビルにジェット機が突っ込んだ悲劇からイラク戦争が始まったのも忘れられませんね。



あのあたりから・・・紛争・難民問題も深刻になり、国内にも広がる子どもの貧困

あれから5年  
**3.11** いよいよ、もう7年以上・・・  
東日本大震災写真展



BIGLOBEニュースより 福島第一発電所航空写真

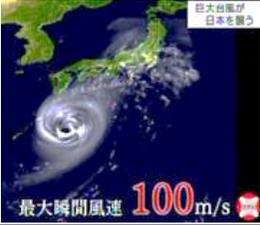


東海各地で39度超す 名古屋39.5℃多治見39.9度

岐阜県下呂市で8月6日午後、観測史上歴代2位タイとなる41.0度を観測



巨大台風の発生  
 (NHKクローズアップ現代2013年11月18日フィリピン巨大台風の襲撃)  
 中心気圧は900ヘクトパスカルを下回り、  
 最大瞬間風速は100メートルを超えます。



その勢力を保ったまま、台風は関東に直撃する可能性が指摘されています。  
 この時、最も恐れられているのが、東京湾で発生する高潮だそうです。

東京に住んでいる人は、あまり意識がないですけど...

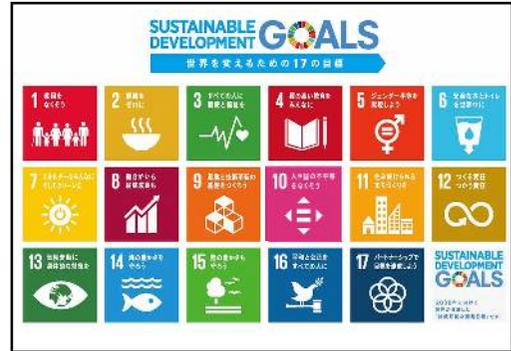
最大瞬間風速 **100** m/s

皆さんが思い出された様々な変化の中から、

**世界を持続不可能にしそうな事柄も、**

出てきましたね。

深刻な課題のある社会ですね。つまり...



- これが私たちの社会の現実 —
- 1, 情報機器の発達により、が**つながり**、
  - 2, 私たちの世界は**大きく**している。
  - 3, この世界をさせることは、**できない**。
  - 4, そして、まだまだ変化は**そう**だ。
  - 5, 変化は、加速度的に**なり**そうだ。
  - 6, 社会の**危う**くなっている。
  - 7, だけではうまくやっっていけない。

子どもたちを取り巻く**世界はグローバル化・情報化が進む中、激しく変化**しております。

世界の条件が変われば、**物ごとの正解も**どんどん**変わります**。

そして、そのような時代に**求められる人間像**も大きく変わってきています。

中学校の、小学校の**教育だけが変わらずに**いられる**わけがありません**。

では、**日本の教育**を変えたとしたら、**どのように変えていく**必要があるのでしょうか。

皆さんは、次の**視点**から中央教育審議会の委員になったつもりでカードに提言用のメモを書いてください。  
 (相談なしで、やりましょう。3分間でなるべくたくさん！)  
 (1枚のカードには一つの提言を、横書きで！)

- 学校教育をどのように変えたいか
- ・目標、目的、実現したい世界
  - ・育てたい資質や能力、人間性等
  - ・教育方法(教え方、学び方)
  - ・重視したい要素、配慮すべきこと
- (その他の視点からでもいいですよ。)

次は、仲間と協力して、カードを項目ごとに読み合い、構成してみましょう。

同じ事・似ていることを書いていたら重ねてもいいです。

関連があるものは、線をつなぐとか工夫して、すっきりと構造的にまとめましょう。

自分たちの班の考え方を説明できるようにしましょう。

説明係を1人決めてください。その人は、回ってくる人たちに何回か説明をしてもらいます。

後の人は、他班の説明を聞きに、学びの旅に出ます。

次は  
**フリーマーケットスタイル**で  
 新しい時代に向けて有効そうな  
 改革案を探します。

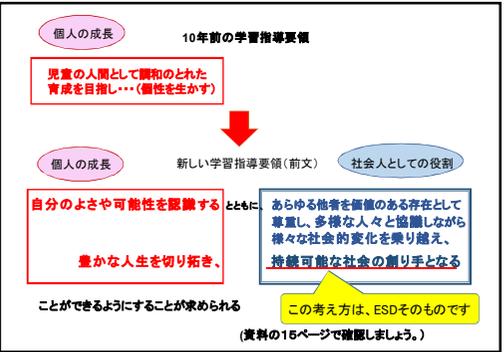
気に入った部分には、シールを  
 傍に貼ってあげましょう。  
 つまり、「いいね」マークです。

今の活動は、指導要領を眺み解くための意識や視点づくりだったのです。  
 視点や問題意識を持たずに資料を読むと、意味がわかりにくいのです。

**新しい学習指導要領では  
 どのように言っているでしょう**

2020年から本格実施される学習指導要領の前文等を読んでみましょう。  
 この中で、今までにない、重要なことも言っています。

皆さんが考え・提案したキーワードが、どのように活かされているでしょうか。  
 探して、下線を引きましょう。○で囲みながら探してもいいですよ。



学習指導要領では具体的に**知識や技能だけでなく**  
**ポニーと生きてんじゅなよ!**

(厳しい時代をたくましく)  
**「生きる力」を育む**

**1、課題解決に必要な**

- ・思考力
- ・判断力
- ・表現力

・主体的に学習に取り組む態度  
 ・多様な人々との協働 コミュニケーション能力

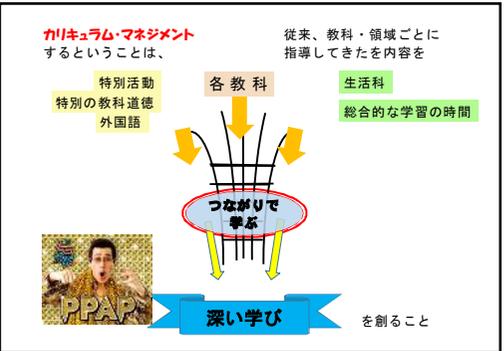
**2、豊かな心や創造性(道徳)**

**3、健康で安全な生活と  
 豊かなスポーツライフ** (17ページ)

それには、学んだ知識を活用し、

**①教科横断的に学ぶ** (18~19ページ)  
**(カリキュラム・マネジメント)**  
 だけでなく

**②主体的・対話的で深い学び**  
**(問題解決的な学び)** (22ページ)

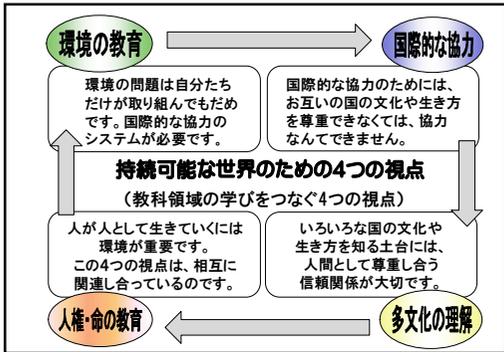


第6学年「未来にはばたけ」学習カレンダー 江東区立八幡川小学校

教科領域	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語	① SDGの意識が ② 考えにたい、 ③ 考えをもつ			未来がよりよく あるために			④ これからの 日本について 考える			
算数										
理科										
社会	⑤ 世界中 の多様な人 々の思い			⑥ 多様な人々 の思いを 受け取り、 多様な 文化を 尊重する	⑦ 新しい日本、 平和な日本へ		⑧ 世界の現状 を自分の 生活と 結び つけて 考える			
総合				⑨ 世界の夢に 思いを つなげる	⑩ 未来が100人の 君だったら		⑪ 未来が100人の 君だったら			
音楽										
体育										
家庭										

**カリキュラム・  
 マネジメント**  
 従来の教科分断的な  
 発想から、教科横断  
 的な発想への転換が  
 必要!

環境の教育 多文化理解 人権・命の教育 学習スタイル



これは、ESDカレンダーといって、教科横断的な学習指導のイメージマップなんですよ。

第6学年「未来にはばたけ」学習カレンダー 江東区立八幡川小学校

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語												
算数												
理科												
社会												
総合												
英語												
特活												
道徳												
音楽												
図工												
体育												
家庭												

環境の教育 多文化理解 人権・命の教育 学習スタイル

**ESDカレンダーと、この具体的な指導計画がセットになっていることが重要です。**

平成26年10月8日 参議院予算委員会にて(NHK国会中継画面より)

持続可能な開発のための教育を視野に、ESDカレンダーの活用をしてはいかかか。

**江東区立八名川小学校の取り組みについては承知している。ESDカレンダーは、ユネスコスクールだけでなく全国の学校教育に広めていきたい。**

(公明党荒木参議院議員)

これが、カリキュラム・マネジメントにつながっているのです。

◎主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、生きる力を育むことを目指す。

- 基礎的・基本的な知識・技能の習得と活用
- 思考力・判断力・表現力等の育成
- 主体的学習態度や多様な人々との協働
- 豊かな心や創造性の涵養

などが、どうしたら自然に身についてくるのか。  
 詰め込み教育をする主体性も、豊かな心も育ちにくい。  
 別々にやろうとしても時間ばかりかかる！

だから

ESDカレンダーを工夫して、その中で学習をつなげカリキュラム・マネジメントすること。

問題解決的な学習過程を重視して、その中に、対話的な協働場面を位置づけること。

**主体的・対話的な学習過程**

【学びに火をつける】 → 【調べる】 → 【まとめる・実行する】 → 【伝え合う】

単元全体に関わる大きな問題意識を共有することが重要。目標に向けて、意欲的な態度が成長を分ける。下に示した火をつける等のステップを重視して指導する。

「計画する一環」というステップ。予想を立て、何時間でも、どんな方法で、なにを調べるか、どこに行くか、どうやって調べるか、どのようにまとめるか、それを誰に伝えるかなど

ポートフォリオ等を活用しながら、効率よくまとめる。発表練習では、助言カード等を活用することで、指導力のある結果が導き出せる。

◎報告会、八名川まつり(ESD学習まつり)など、子どもたちが学生や学校・地域を結んで発表したり、行動したりする場を想定する。自ら考えたことを進んで実行させる。

学びのコーディネーターとして、指導力のある先生を軸に、主体的・対話的な学びづくりを推進する。

1. 出会う  
①体験活動や資料をもとに基本的な事実と出会い、共有する  
②多様な気づきや感想を共有する

2. 見付く  
①教師が提示したり、子どもが調べた事実や意見を共有する  
②多様な気づきや感想を共有する

3. 問題意識をもつ  
①グループや学級全体で意見を出し合い、分類・整理して学習問題化する  
②問題について学習を進める

**『こどもの学びに火をつける』際の3つのステップ**

① < 問題に気づかせる >

1) 体験活動や提示資料をもとに基本的な事実と出会う  
2) 体験したり資料を見たりしたこと、多様な気づきや感想などをもち、それを共有する

② < 火をつける >

3) 教師が提示したり、子どもが調べたりして出合った矛盾する事実や意見を共有し、書き出す

③ < テーマを決める >

4) グループや学級全体で疑問を出し合い、分類・整理してまとめ、学習問題をつくる  
5) 問題について、自分なりの予想をする

『学びに火をつける』段階の展開

単元「未来につなぐ生きる力」【教育関係者へ】

単元のねらい 世界の現実を踏まえた教育を考えると学習指導要領の「生きる力」の教育につながっていることに体験的に気付かせ、教育改革に取り組む意欲を高める。

① 「問題に気づかせる」段階  
どんな事実とどのように出会い、共有するのかが

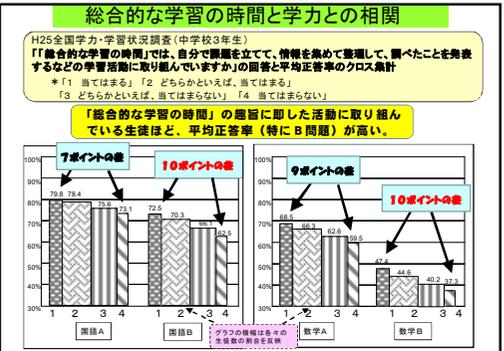
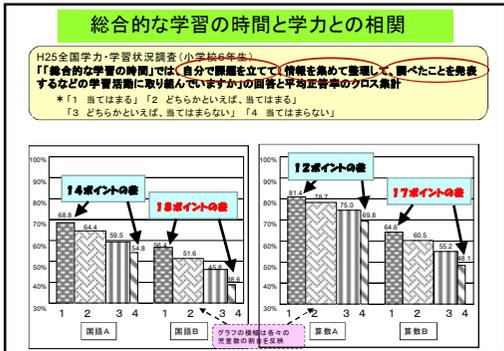
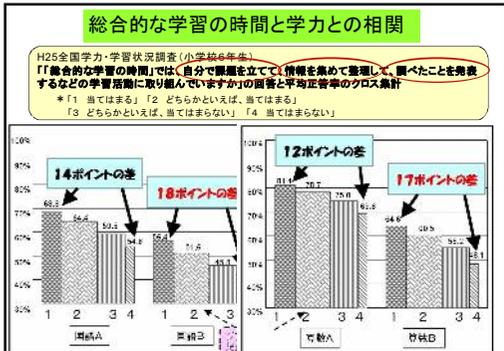
② 「火をつける」段階  
どんな意見を共有し、整理する事実をぶつけるのかが

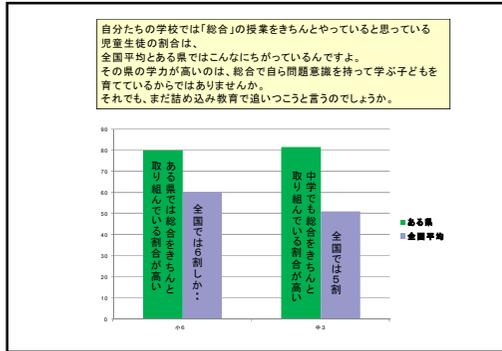
③ 「テーマを決める」段階  
どんな学習問題を作らせたのか

社会の進化についてグループで話し合い、「ゆっぴり」とまわりの社会から家族社会へ、正解のあった時代から正解も変わる時代へと変わっている。というプレゼンを見て、今までの教育観や教育方法ではやっていけないことに気づく。

「今までの学校教育で通用するのですか。だめだとしたらどのような教育に変わるつもりですか」と投げかけ、改革案のキーワードを書かせ、グループごとにカードを模造紙上に構成しながら、どんな教育施策が重要かまとめる。

教育改革案や、そのキーワードをワールドカフェ方式で交流し、「実際の日本の教育はESDの方向に進もうとしているのだろうか、学習指導要領等から読み取ろう」という問題意識をもち、研修にのめりこむ。





## 全校で ESD (持続可能な開発のための教育)

やなぎわ

### に取り組む八名川小学校

# 5年生はCO<sub>2</sub>削減!

教育課程に位置づけて  
教科横断的に  
行政・企業・地域・家庭と連携し  
主体的な学びとして実践し  
世界に向けても発信!!

この視点から教科横断的に学びをつなげ  
教育課程に位置づけるのがESDカレンダー

教科	単元	ESDの観点
国語	...	...
算数	...	...
理科	...	...
社会	...	...
総合	...	...
特活	...	...
英語	...	...
道徳	...	...
音楽	...	...
図工	...	...
体育	...	...
家庭	...	...

ESDカレンダーは  
関係者社会に向けた  
学びの設計図

### 行政・企業と連携

## カーボンマイナス こどもアクション 記録シート

江東区では、区内の小学5・6年生の全てを対象にカーボンマイナスこどもアクションへの参加を働きかけています。

江東区温暖化対策課の取り組みです。

### みんなでCO<sub>2</sub>を減らそう!

取り組む意味がわからないままにCO<sub>2</sub>を減らさせても、主体的な学びにはなりません

主体的な学びのために、プレゼンで問題意識を持たせませす

私たちは今、  
どのような世界に生きているのでしょうか。  
そして、どのような世界を  
生きていくのでしょうか???

私は2008年の頃にインターネット上で、このような資料を見ながら、ESDの必要性を強く感じるようになりました。

## 2010年

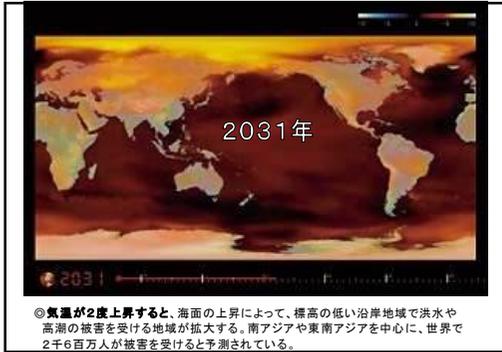
©「地球シミュレータ」の温暖化予測によると、2010年には地球の気温は1900年と比べて1.4度高くなる。地球の平均気温が1度上昇すると、世界各地の珊瑚礁がこの白化現象を起こし、珊瑚は死滅してしまう。

### 「地球温暖化による環境の変化」

- 水河なくなる
- 水がとげる
- 砂漠化
- 巨大化する台風
- 植物の変化
- 病気が増える
- 水没する島
- サンゴがなくなる
- 水不足になる

2018年9月2日  
埼玉県浦市で発生

地下鉄入り口に溢る水



◎**気温が2度上昇すると**、海面の上昇によって、標高の低い沿岸地域で洪水や高潮の被害を受ける地域が拡大する。南アジアや東南アジアを中心に、世界で2千6百万人が被害を受けると予測されている。



私たちの生きていく世界（2050年の天気予報）

1. 私たちはいつまで生きられるのか。 2050年の私は、きっと……

2. 私たちはどんな世界を生きるのか。

【2050年9月23日の天気予報……を予想しよう。】

① この日の東京の気温……（ ）度 この年の最高気温は……（ ）度。

② 真夏日（30度以上の日）は……（ ）日。

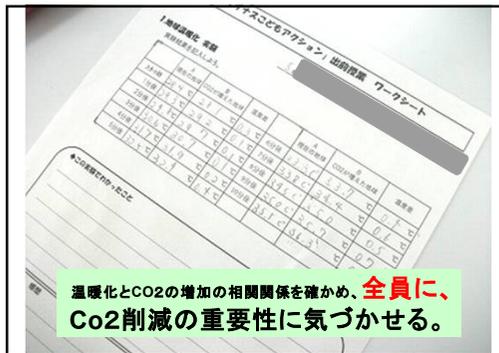
③ 2050年夏（45歳の頃）の気候の特色。



**プレゼンの詳しい内容は省略します。世界各地で進む環境の変化や、その影響について事実を知らせます。**

**児童は心配なことや疑問を書き出し、カードを操作して学習問題にまとめます。**

**このようにして「学びに火が付き」主体的な学習が始まるのです。**







第7回八名川まつり発表内容

平成31年2月27日(土)の午前にどうぞ。発表内容は、子どもたちが決めますので変わっていくと思いますが、お楽しみに！(午後は、第6回ESDのワークアップ発表会)

1年 秋のおもちゃの店 ポンダリやまつりについて調べる	
2年 うごくおもちゃ大しゅう合 ゴムで、車で、車道で……ついに完成!	
3年 八名川タイムトラベル 町の歴史や道具を調べて調べる。	
4年 やさしさパワーアップ大作戦 妊婦さん、外国人、お年寄り……	
5年 せやろう! 地震から身を守る備えを! 避難経路や地域の方と答えを調べる	
6年 未来にはばたけ! ~小学校卒業研究~ キャリアの職業から将来職業と学び方を調べる	

八名川まつりのような「全校児童(生徒)によるESD学習発表プレゼンまつり」をすることの価値

- ① 一人一人の子どもが、「大人から子どもまで様々な世代の方に向かって、自分の学びを、何回も語る。」という経験ができる。  
人に伝える中で、自分の学びへの深い理解が進む。
- ② 多くの人に認められ、自信と誇りと課題意識が育つ。
- ③ テーマごとにグループを作って学び・まとめ・発表することで、開かれた学年ができる。
- ④ あこがれをもって上級生の取り組みを見る中で、毎年、無意識のうちに、前年の取り組みを越えよう工夫され、全校の学びの質が、自動的に高まる。  
これを教育課程に位置づけるのもカリキュラムマネジメントです



環境 人権 多文化理解

3つの視点で取り組んできた生活・総合の単元名をSDGsのロゴに対応させると、小学校6年間で、全ての課題に向き合った学びが進められています。このような学習がESDであり、SDGsの中心に位置するものなのです。

◆子どもたちが生きていく時代を踏まえた社会的な課題 何を学ぶか

環境	人権	多文化理解(異文化理解)
目標 1 貧困をなくそう	目標 7 再生可能エネルギー	目標 10 人や国の不平等をなくそう
目標 2 飢餓をゼロに	目標 8 働きがいと経済成長	目標 11 持続可能な都市
目標 3 健康と長寿を促す	目標 9 産業とイノベーション	目標 12 持続可能な消費と生産
目標 4 質の高い教育をみんなに	目標 10 人や国の不平等をなくそう	目標 13 気候変動に具体的な対策を
目標 5 男女の平等をすすめる	目標 11 持続可能な都市	目標 14 海洋資源を豊かに保つ
目標 6 安全な水とトイレを世界中に	目標 12 持続可能な消費と生産	目標 15 陸の豊かさを保つ
目標 7 再生可能エネルギー	目標 13 気候変動に具体的な対策を	目標 16 公正な裁判と法の支配
目標 8 働きがいと経済成長	目標 14 海洋資源を豊かに保つ	目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう
目標 9 産業とイノベーション	目標 15 陸の豊かさを保つ	
目標 10 人や国の不平等をなくそう	目標 16 公正な裁判と法の支配	
目標 11 持続可能な都市	目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう	
目標 12 持続可能な消費と生産		
目標 13 気候変動に具体的な対策を		
目標 14 海洋資源を豊かに保つ		
目標 15 陸の豊かさを保つ		
目標 16 公正な裁判と法の支配		
目標 17 パートナーシップで目標を達成しよう		



さて、レジュメにある最後の話題です。

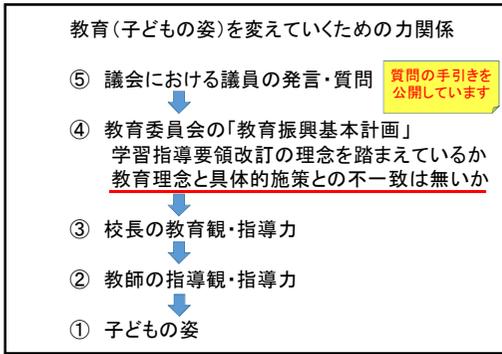
学習指導要領にESDの理念が明記され、その重要性や、実践の具体例についてお示しました。

それが皆さんの市や町の教育で推進されるにはたくさんの壁があります。

どこに、どんな壁があるでしょう。どこをどう改善したら、教育改革が始まるのでしょうか。

学校内の壁

- ① 教師・・・自分が教え込みの学びで育ててきた。今までの授業に問題意識がない。きちんと教えるのが教師だと思っている
- ② 校長・・・学習指導要領のどこが変わったか、理解できていない。自校の学力向上と大過なく過ごすのが大事だと思っている。自分はある教科・領域の専門家だと思っている。教育委員会の指導がないと動かない。

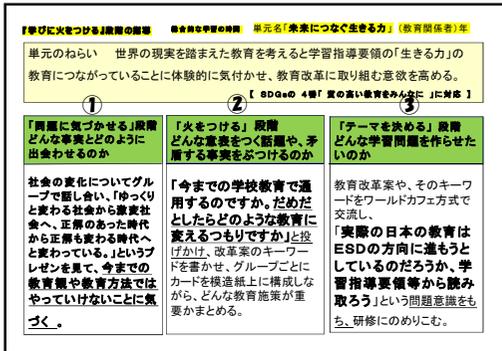


教育委員会を変えるために、議員さんに教えていること「ESD議会質問マニュアル」

- ① 教育振興基本計画に「持続可能な社会の創り手の育成」等掲げられているか。それとも明治以来の「知・徳・体」で済ませているか。
- ② 目標や基本方針に「生きる力」「生き抜く力」を掲げているか、それとも「学力向上」至上主義か。
- ③ 施策に向けて「確かな学力」を掲げているとしても、それが「基礎学力の向上」を意味しているのか、思考力・判断力・表現力等の育成の意味で書かれた施策になっているのか。
- ④ 指導観・指導法の改善・工夫として「主体的・対話的で深い学び」つまり問題解決的で協働的な学習を目指しているか。それともベテラン教員を活用した「教え込み技術」の伝承や「少人数指導」で基礎・基本の徹底を目指しているのか。

「議員用ESD議会質問マニュアル」

- ⑤ カリキュラムマネジメントとして「ESDカレンダー」の作成かもしくはそれ以上の教科等横断的な指導計画を明示しているか。
- ⑥ 各学校の「教育課程」に上記のことがどれだけ記述されているか、そして、年度末の学校評価でどれだけ検討・改善が進んでいるか。
- ⑦ これらのことを校長・教頭あるいは教務主任等に対してどの程度の指導をしたのか。  
(文書資料があるなら示してもらおう)
- ⑧ その成果として、全校の子どもたちの主体的・対話的に学び合う姿がどのような場で、どのようにみられるのか。また、実践を踏まえた発表・発信の場が確保できているのか。



上記の画面は先ほどお見せしました。ここでもう一度お示したのは、次のような意味があります。

皆さん、ESDを進めるには、主体的・対話的で深い学びが大事です。  
主体的とは・・・  
対話的とは・・・  
深い学びとは・・・  
ESDとは、SDGsとは・・・

主体的な学びの重要性を知識伝達型の講義で伝えたとして、「この人は言ってること、やっていることが一致していない。信用できない。」と思われる。そういう人の唱えるESDは信用されにくいのです。伝え方も重要です。

皆様方のお取り組みによって、ESDが広まり、成長し、変容する子どもたちの姿を通じて保護者や、地域の理解・納得、そして協力を得られるよう、各校が実践を重ねていかれますことを期待しています。

さて、最後に資料の紹介をいたします。



**活用できる江東区立八名川小学校 HP データの紹介**

- SDGsアワード特別賞受賞関連資料
  - …提出資料、関連資料
- 国連広報センターブログ
  - …八名川小学校訪問記 (八名川まつりの良さが自然に伝わってきます。)
- 「ユネスコスクール」…(8年分の校内研究全ての)指導案・カレンダー等、博報賞記念講演VTR、世界発信資料、



**④ 持続可能な社会の創り手育てる教育への改革を進める 教育委員会や、議員の方々への手引きのページ**

本は、国内外の地方自治体や企業などから、日本の教育現場の課題について語っていただいています。その中から、地方議員さん方が活躍できる、日本の教育変革に重要な役割を果たす斬新なアイデアを挙げておきます。

1. 教育現場の課題を共有する  
2. 教育現場の課題を共有する  
3. 教育現場の課題を共有する

関係資料の紹介です。図書館等でご覧ください。書籍の中の全図版をカラーで公開しました。校内研修等でご利用いただけます

**使用図版 (権利会社) がカラーで公開されました**

ESD・SDGsの 研究・理解・プレゼンに本巻と併せてご利用ください。

2 | 種類の図版を公開

**Column** 教育出版→教育関連事業→コラム

ESD、特別支援教育など、教育におけるさまざまな課題について多方面で活躍している方々にご執筆いただいたコラムを掲載しています。

手島先生、ESDについて質問です！

学校発・ESDの学び

第1回 2018年6月29日掲載

「ESDって私の学校でも取り組みないといけないんですか？」  
「持続可能な社会の創り手って、どうやったら育つのですか？」  
「ESDを取り組んでいたならSDGsが始まったって、どういうこと？」

平成30年12月21日(金)

近畿ESDコンソーシアム連続公開講座 第4回

**「これからの時代に求められる 学校教育と教師の姿」**

江東区立八名川小学校 前校長 手島 利夫

メール: [contact@esdtejima.com](mailto:contact@esdtejima.com)  
「ESD・SDGsを推進する手島利夫の研究室」  
URL: <https://www.esd-tejima.com/>  
携帯: 090-9399-0891